

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月10日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

上場取引所 東大

コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 川上 優

TEL 06-6765-0670

四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	2,353	—	57	—	66	—	227	—
21年2月期第1四半期	2,502	△35.1	△27	—	△30	—	△40	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	27.65	—
21年2月期第1四半期	△4.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	4,117	1,869	45.0	225.40
21年2月期	3,587	1,665	46.0	200.73

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 1,854百万円 21年2月期 1,651百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	6.00	—	3.00	9.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	4,415	—	29	—	29	—	137	—	16.70
連結累計期間	9,000	△2.9	85	—	85	—	178	—	21.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第1四半期	8,359,103株	21年2月期	8,359,103株
② 期末自己株式数	22年2月期第1四半期	133,275株	21年2月期	133,244株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第1四半期	8,225,831株	21年2月期第1四半期	8,226,227株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、企業収益低迷に伴う雇用調整や人件費抑制の動きが家計に波及し、個人消費は低迷を続け厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で当社グループの卸売事業は比較的堅調に推移しましたが、小売事業は前期中に不採算店を閉鎖し、前年同期比で3店舗減少したこと等により低迷し、売上高は2,353百万円（前年同期比5.9%減）となりましたが、グループ全体でコスト圧縮を進めた結果、営業利益は57百万円（前第1四半期は27百万円の営業損失）、経常利益は66百万円（前第1四半期は30百万円の経常損失）となりました。また、保険解約益等の発生により特別利益を177百万円計上したことにより、四半期純利益は227百万円（前第1四半期は40百万円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

(1) 卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、多店舗展開するオペレーターへの販売を強化するため、これらのオペレーターには商品企画段階からの提案営業を推進しました。また、商品面では「まるねこくらぶ」をはじめとする当社のオリジナルキャラクターがヒットし、売上高の増加と利益率の改善に貢献しました。これらの要因により売上高は1,123百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

S P部門においては、外食チェーン店のキャンペーン用商品や、雑誌の付録等が決まり、売上高は360百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

物販業界向け販売部門においては、需要の低下による携帯電話関連グッズの落ち込みがあったものの、コンビニエンスストア向けのホビー商材や、キャラクターのインナーウェア等のバラエティ雑貨が好調であり、売上高は551百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

以上の結果により、売上高は2,034百万円（前年同期比%0.8増）、営業利益は58百万円（前年同期比286.1%増）となりました。

(2) 小売事業

小売事業においては、平成21年4月末に不採算店の心齋橋店を閉店したため、店舗は広島本通り店と松山銀天街店の2店舗となりました（前第1四半期は6店舗）。

他方、閉店しました心齋橋店の地下1階で「NAKANUKIYA+on」という従来のナカヌキヤにおしゃれ感と値ごろ感をプラスした店を6月よりオープンすることが決まり、今後の店舗展開のモデル店となることが期待されています。

これらの要因により、売上高は318百万円（前年同期比34.0%減）、営業損失は1百万円（前第1四半期は42百万円の営業損失）となりました。

なお、対前年同期比及び前第1四半期実績数値は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ530百万円増加し、4,117百万円となりました。資産の増減の主なもの、現金及び預金の増加額628百万円、受取手形及び売掛金の増加額143百万円、保険積立金（投資その他の資産「その他」）の減少額95百万円であります。負債は前連結会計年度末に比べ326百万円増加し、2,248百万円となりました。これは主に買掛金の増加額156百万円、短期借入金の増加額150百万円によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、1,869百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額202百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて628百万円増加し、1,101百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、264百万円となりました。

これは主に、売上債権の増加額が143百万円及び保険解約益が106百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が243百万円及び仕入債務の増加額が156百万円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、217百万円となりました。

これは主に、保険積立金の解約による収入が242百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、146百万円となりました。

これは主に、短期借入金の増加額が150百万円あったことを反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を変更しておりません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来より主として総平均法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更による損益及びセグメントに与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,060	472,988
受取手形及び売掛金	1,184,168	1,040,952
商品	406,380	483,636
繰延税金資産	18,494	9,952
その他	148,323	235,556
貸倒引当金	△6,260	△5,905
流動資産合計	2,852,166	2,237,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	539,422	538,778
減価償却累計額	△174,388	△170,501
建物及び構築物(純額)	365,033	368,277
車両運搬具	8,004	8,004
減価償却累計額	△6,167	△5,940
車両運搬具(純額)	1,837	2,064
その他	60,800	61,295
減価償却累計額	△42,496	△44,440
その他(純額)	18,304	16,855
土地	332,546	332,546
有形固定資産合計	717,720	719,743
無形固定資産		
無形固定資産合計	5,163	5,294
投資その他の資産		
投資有価証券	155,576	141,715
繰延税金資産	1,966	2,857
その他	405,476	499,503
貸倒引当金	△20,179	△18,824
投資その他の資産合計	542,839	625,251
固定資産合計	1,265,723	1,350,289
資産合計	4,117,890	3,587,470

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	968,713	812,573
短期借入金	820,000	670,000
未払法人税等	24,053	1,265
繰延税金負債	7,260	8,846
賞与引当金	84,836	41,006
その他	238,264	280,083
流動負債合計	2,143,128	1,813,776
固定負債		
退職給付引当金	100,654	103,268
その他	4,237	4,605
固定負債合計	104,891	107,874
負債合計	2,248,020	1,921,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	989,100	786,311
自己株式	△50,999	△50,995
株主資本合計	1,850,937	1,648,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,451	1
繰延ヘッジ損益	△310	3,052
評価・換算差額等合計	3,140	3,054
新株予約権	15,792	14,613
純資産合計	1,869,870	1,665,819
負債純資産合計	4,117,890	3,587,470

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
売上高	2,353,822
売上原価	1,728,654
売上総利益	625,167
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	1,827
給料及び手当	194,743
賞与引当金繰入額	43,829
退職給付費用	3,627
その他	324,002
販売費及び一般管理費合計	568,029
営業利益	57,138
営業外収益	
受取利息	131
受取配当金	554
投資有価証券評価損戻入益	9,691
その他	3,007
営業外収益合計	13,385
営業外費用	
支払利息	2,684
その他	1,554
営業外費用合計	4,238
経常利益	66,284
特別利益	
保険解約返戻金	106,366
前期損益修正益	59,022
その他	11,835
特別利益合計	177,224
特別損失	
固定資産売却損	36
特別損失合計	36
税金等調整前四半期純利益	243,472
法人税、住民税及び事業税	23,656
法人税等調整額	△7,651
法人税等合計	16,005
四半期純利益	227,466

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	243,472
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43,829
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,710
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,613
受取利息及び受取配当金	△686
支払利息	2,684
投資有価証券評価損戻入益	△9,691
保険解約損益 (△は益)	△106,366
売上債権の増減額 (△は増加)	△143,251
たな卸資産の増減額 (△は増加)	77,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	156,139
その他	6,212
小計	268,695
利息及び配当金の受取額	773
利息の支払額	△2,579
法人税等の支払額	△1,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,989
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△15,534
保険積立金の解約による収入	242,409
その他	△8,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000
自己株式の取得による支出	△4
配当金の支払額	△3,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	146,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	△938
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	628,072
現金及び現金同等物の期首残高	472,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,101,060

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上	2,034,921	318,900	2,353,822	—	2,353,822
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,510	—	3,510	(3,510)	—
計	2,038,432	318,900	2,357,332	(3,510)	2,353,822
営業利益	58,309	△1,897	56,411	726	57,138

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日）

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金額（千円）
I 売上高	2,502,417
II 売上原価	1,864,129
売上総利益	638,287
III 販売費及び一般管理費	665,513
営業利益	△27,225
IV 営業外収益	14,140
V 営業外費用	17,500
経常利益	△30,585
VI 特別利益	—
VII 特別損失	24
税金等調整前四半期純利益	△30,610
税金費用	10,079
四半期純利益	△40,689

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日）

	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△30,610
減価償却費	4,126
賞与引当金の増加額・減少額(△)	44,924
貸倒引当金の増加額・減少額(△)	6,264
退職給付引当金の増加額・減少額(△)	△3,593
保証金の減少額・増加額(△)	215,330
受取利息及び受取配当金	△2,880
支払利息	1,284
保険解約益	△2,152
売上債権の減少額・増加額(△)	△73,335
棚卸資産の減少額・増加額(△)	△100,942
仕入債務の増加額・減少額(△)	321,343
未払金の増加額・減少額(△)	△65,695
その他	△87,269
小計	226,794
利息及び配当金の受取額	2,880
利息の支払額	△1,284
法人税等の支払額	△87,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,133
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△5,486
保険積立による支出	△17,884
保険解約による返戻金収入	5,339
有形固定資産の取得による支出	△1,751
その他	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,662
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	260,000
短期借入金の返済による支出	△90,000
自己株式の取得による支出	△47
配当金の支払額	△8,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	161,680
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,688
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	278,462
VI 現金及び現金同等物の期首残高	958,462
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,236,925

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日）

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上	2,019,345	483,072	2,502,417	—	2,502,417
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,266	—	7,266	△7,266	—
計	2,026,611	483,072	2,509,683	△7,266	2,502,417
営業費用	2,011,510	525,592	2,537,102	△7,459	2,529,642
営業利益	15,100	△42,519	△27,419	193	△27,225

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日）において、海外売上高がないため該当事項はありません。